

新潟県女性センター情報 No.90

2012. 7. 20発行

働く女性のためのセミナー

新潟県女性財団では、働く女性を対象にしたセミナーを企画・実施しています。7月22日(日)には、「働く女性のためのタイムマネジメント」を開催。講師は、荒金雅子さん(株式会社クオリア代表取締役)。自分らしいワーク・ライフ・バランスを手に入れるために、タイムマネジメントの原則を知り、時間管理の仕組みを作るというプログラムです。また、9月には下記のセミナーを開催しますので、働く女性の皆さんの参加をお待ちしております。

働く女性のためのロジカル・プレゼンテーション *****

伝わらなければ何も始まりません。

相手にとって「わかりやすい」＝「ロジカル」になるための思考法と
聴き手を納得させるための伝わるプレゼンテーションを学んでみませんか？
「ロジカル」であるための基本構造とポイント、「プレゼンテーション」に
必要な3つの能力を講義と実習で実践的に鍛えます。

【日時】9月8日(土) 10:00～17:00

【会場】新潟県女性センター女性団体交流室2

【対象】テーマに関心のある働く女性

【定員】20人(申込先着順) 【参加費】5,000円

※一時保育あり。詳細は当財団にお問い合わせください。

講師：内田友美さん
(株)HRインスティテュート取締役
チーフコンサルタント。
国際機関にて開発途上国援助プログラムに従事後、ビジネスコンサルティング会社にてマネジメントコンサルティングに従事。
『企画プレゼンの技術』『ロジカルシンキングのノウハウ・ドゥハウ』(PHP研究所)ほか執筆担当書籍多数。

地域セミナー

市町村と女性財団が協働で企画・実施する地域セミナーは、今年度県内8か所での開催予定。7月～9月には、下記のセミナーが行われます。

★佐渡市

| 回 | 日時 | 内容 / 講師 |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 7月15日(日) 10:00～12:00 | 男女共同参画推進講演会「女性の活躍が日本を救う！」 講師：伊藤聡子さん(フリーキャスター) ※「第36回女性のつどい」の午前部として開催 |

【会場】両津文化会館(佐渡市梅津)

【問合せ先】佐渡市地域振興課地域振興係 TEL 0259-63-4152

★十日町市

| 回 | 日時 | 内容 / 講師 |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 8月4日(土) 9:45～11:30 | 楽しい子育てで男性も笑顔に!! 講師：安藤哲也さん(NPO法人「ファザーリング・ジャパン」ファウンダー・副代表) |
| 2 | 9月1日(土) 9:45～11:45 | 乳児期にぴったりの絵本とふれあい遊び 講師：千保木美代子さん・鈴木裕子さん(子育てサークルおはなし「たまてばこ」) |
| 3 | 10月6日(土) 9:45～11:45 | 幼児期にとっておきの絵本とおもちゃ 講師：江村かおるさん(津南町の読み聞かせボランティア「おはなしおかあさん」) 押木一平さん(学校法人下条学園むつみ幼稚園・むつみ保育園保育士) |
| 4 | 11月10日(土) 9:45～11:45 | 学童期に楽しむ絵本とジャグリング遊び 講師：春日みどりさん(読み聞かせの会「どんぐり」、JPIC読書アドバイザー)ほか |

【会場】十日町情報館(十日町市西本町) 【問合せ先】十日町市教育委員会生涯学習課 TEL 025-757-8918

★上越市

| 回 | 日時 | 内容 / 講師 |
|---|-------------------------|--|
| 1 | 9月21日(金) 10:00～17:00 | 女性リーダー向けマネジメント講座 講師：丸山結香さん(有限会社MAX・ZEN performance consultants 代表取締役) |

【会場】上越市市民プラザ(上越市土橋)

【問合せ先】上越市男女共同参画推進センター TEL 025-527-3624

去る6月23日(土)・24日(日)、新潟ユニゾンプラザを会場に「にいがた女と男フェスティバル 2012」を開催しました。23日・24日午前は、県内で活動する14団体によるワークショップが行われました。また、23

日午後の女性財団主催の講演会「子育てにやさしい社会の実現に向けて～働くあなたに贈るメッセージ～」には、県内各地から200人を超える方々に参加していただきました。以下、講演の内容を掲載します。

講演会「子育てにやさしい社会の実現に向けて～働くあなたに贈るメッセージ～」

講師：村木厚子さん（内閣府政策統括官 共生社会担当）

内閣府の共生社会を担当しています。高齢者でも若い人でも子どもでも障がいがあってもなくても共に支えあう社会を目指すのが共生社会です。

◆少子化の進行と人口構造の変化

これからの日本を考えるのに大事なメッセージのあった、3つの数字があります。

1. 第一次ベビーブームの人たちが親になり、第二次ベビーブームが起りましたが、第二次ベビーブームの人たちが親になったのに、第三次ベビーブームが起らなかった。これは、今後お母さんの数が急激に減るということです。お母さんの数が減るので子どもが増えない。
2. 日本の将来推計人口をみると、2055年は自分の子どもたちが高齢者になっている時期です。この時の生産年齢人口（15歳～64歳）は、これから生まれる人で変えられる数字です。2030年の現役世代人口は生れているのでいまさら増やすことができない数字です。変えられる未来と変えられない未来の両方が入っている。生産年齢人口は、男女込み込みで、収入のない人も入っている。ここを太くするには、収入を得ていない、女性や障がい者の働く環境を整えていくということです。
3. 女性労働力率の国際比較のグラフ。日本はM字カーブです。子育て期に仕事を辞めてしまう女性が多いのです。OECD加盟24か国における合計特殊出生率と女性労働力率をみると、女性が働いている国は、赤ちゃんも生まれている。ちゃんと女性が働きやすく子育てがしやすい国は、両方がうまくいっている。日本は女性も働けて赤ちゃんも生まれる国にするにはどうしたらいいかを考えるのが課題です。

◆結婚や出産をとりまく状況

今の日本の男女は9割が結婚したいし、子どもは2人持ちたいという答えが返ってくる。結婚のハードルは、所帯をもつ収入があるかどうか。結婚して1人目を産むかどうかというのは、今の仕事のやりかたで、仕事を辞めないで子どもが産めるかどうか。2人目を産むかどうかは、1人目を産んだ時に夫が手伝ってくれたか、育児不安にならなかったか、3人目を産むかどうかは経済的な問題です。

結婚のハードルの一つは、非正規雇用が増えていること。年収300万円ある男性はけっこう結婚しています。でも、2人で400万くらいあったら生活していけそうですが、働いている女性は出産で7割が仕事を辞めています。働き続けられないから、高い収入の男性を探さざるを得ない。

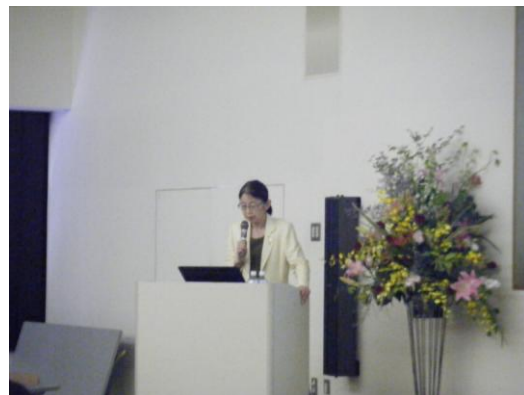
なぜ働き続けられないのか、日本の職場の男性は、30歳代で週60時間以上働いている。この中で、女性が5時に帰るのは難しい。6歳未満の子どもをもつ男性の家事育児時間は、日本は1日1時間。フランスは保守的だといわれていても2時間。日本はお母さん一人で子育てしなきゃいけない。

◆子ども・子育て支援政策と労働政策

女性をはじめとする働く意欲を持つすべての若者の労働市場参加を実現しつつ、国民の希望する結婚・出産・子育てを可能にするためには2つの柱がいます。

1. 労働政策としては、若者の就労支援。働いていても子育てが楽しめる、ワーク・ライフ・バランス。
2. 子ども・子育て支援政策としては、親の就労と子どもの育成の両立、家庭における子育てを包括的に支援する枠組み（社会的基盤）を作ること。

「車の両輪」となる、この2つの取り組みをできる限り速やかに軌道に乗せることが必要です。そのために、子どもと子育て家庭を応援する『子ども・子育て新システム』を作っていこうというのです。子育ての責任は親だが、社会がちゃんと応援するための政策です。具体的には、すべての子ども・子育て家庭への児



童手当や地域子育て支援。幼保一体化による、給付システムの一体化や施設の一体化。それによって、質の高い幼児期の教育や保育が提供でき、保育が量的に拡大し、家庭での養育支援を充実することができます。

◆働く女性へのアドバイス

ここからは、私自身の体験をまじえた話です。

子どもを育てながら仕事をするのは難しいですが、後輩には、「子育ては大変だけど楽しいよ」と伝えようと思っています。両立するには、あんまり考えすぎないこと。いろんな制度を使うのは悪いことではないけど、仕事場での貸し借りの感覚をもつこと。そして、難しくない仕事、きつくない仕事というのは勧めません。お母さんは、子どもに「こういう仕事をして頑張っている」と言えた方が両立しやすい。仕事のストレスって育児で解消できるし、育児のストレスって仕事で解消できます。夫からのアドバイスは、「夫は褒めて育てろ」ということなので、後輩にはそう伝えていきます。

◆事件について

3年ほど前の郵便不正事件。障がい者のための郵便割引制度を不正に利用して、ダイレクトメールを送った事件です。拘留所の中で163泊164日過ごすことになりましたが、家族、仲間、弁護士団の支えが大きかった。

事件があってから、「村木さんお強いんですね」と言われる。なんで頑張れたのか考えると、いくつか要素があります。一つは好奇心。逮捕後初めて拘留所に入った時、8~9割は何で逮捕されたんだろうと、でも1~2割はこってどんな部屋なんだろう、目がきょろきょろしている。好奇心が自分を助けてくれました。

もう一つは、危機対応に慣れていたこと。子育てと仕事で綱渡りのような生活をしてきたので、当時の我が家の家訓は「綱渡り、下を見なければ怖くない」。今考えても仕方がないことは考えない。大きな危機が来た時には、何をしなければいけないかリストアップする。その中で、すぐできることと、今はできないがこれをやれば次にこれができるということを仕分けして、できることはすぐ手を付ける。こうするとだいたい落ち着くんですよ。

長時間の取り調べは、だいたいお昼ぐらいに始まって夜の10時とか11時まで。霞が関の労働時間よりは短いんです。これも耐えられた。苦勞しておくもんだと。

好きなことがあったこと。推理小説が大好きなんです。本を開くと忘れる。大好きなこと、夢中になれることと、忘れられるということはすごく大きい。

4つめ、これが一番大事で、食べて寝たことです。初日に拘留所の自分の部屋に入って、就寝時間を過ぎるとすごく静かで、でも、ここまではマスコミは入ってこれないと思ったら爆睡できた。1日目寝られたらたいしたもので、あとは大丈夫。

事件が終わって振り返ってみると、20代30代だったらがんばれなかったかもしれない。仕事と子育てで大変だと思ってきたが、そのことがとても役立った。経験とがんばりを積み重ねていくことが大事。

共生社会、ひとりひとりが自分のできることをちゃんとがんばる、家族や仲間の助けと、公共のサービスがそろって、いい社会ができると思います。



ワークショップ実施一覧

| 開催日 | | テーマ | 団体名 |
|-------------|----|--|-------------------------|
| 6/23 (土) | 1 | 新潟県男女平等推進プラン改訂に向けて | 北京JAC・新潟 |
| | 2 | ファシリテーションの扉を開けよう！～ファシリター入門編～ | NPO法人日本ファシリテーション協会新潟サロン |
| | 3 | この休暇、取れる？ 取れない？ | 連合新潟女性委員会 |
| | 4 | 弁護士が語る！DV、セクハラ、虐待… 女性をとりまく社会的リスク | 新潟県女性海外派遣修了者の会 |
| | 5 | 目からウロコ!? 健康講座と骨盤体操 | 女性の生き方・健康について考える会 |
| | 6 | 今、私たちにできること～被災、暴力、女性 知ることからはじまる～ | NPO 法人女のスペース・にいがた |
| | 7 | 親ってなあに？ 親自身へのQ&A～ぶっちゃけば番外編～ | Happy Balance |
| 6/24 (日) | 8 | CAPママ茶会～CAPってなあに？～ | NPO法人子ども・人権ネット CAP・にいがた |
| | 9 | 女と男のクロスロードゲーム～Yes or No あなたはどっち？～ | Assistation |
| | 10 | 子育て心理学講座～なぜ上手くいかないのか？どうしたら良いのか？～ | TA再決断勉強会 |
| | 11 | 座談会「審議会やJETI協議会等への参加とパブリックコメントの仕方を教えます。」 | にいがた女性会議男女平等教育部会 |
| | 12 | 異文化コミュニケーション～音のある世界とない世界～ | NPO 法人にいまーる |
| | 13 | 新潟の幸せをつないで、まちを磨こう | 豊かさラボ |
| | 14 | 平和への願いをこめて | Lealea |

県外の情報

●男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム

国立女性教育会館では、男女共同参画社会の形成をめざした研究、教育、学習、実践活動を行っている個人、団体・グループの相互交流とネットワークづくりを推進するためにフォーラムを開催します。詳細は、下記にお問い合わせください。

【開催日】8月24日（金）～26日（日） 【会場】国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町）

【内容】

| | | |
|------|-------------|--|
| 8/24 | 13:00～15:00 | シンポジウム「女性の活躍による新たな社会の創出に向けて」 シンポジスト：小林洋子（NTTコム チェオ株式会社代表取締役社長） 杉本彰子（NPO 法人生き生きネットワーク理事長） 宮田安彦（大妻女子大学家政学部イデガザイ学科教授） コーディネーター：宗像道子（共同通信社編集委員・論説委員） |
| | 15:30～17:30 | ・全国から募集したワークショップ ・会館提供ワークショップ |
| 8/25 | 9:30～17:30 | |
| 8/26 | 10:00～12:00 | |

【問合せ先】独立行政法人国立女性教育会館事業課

TEL 0493-62-6724・6725 / E-mail progdiv@nwec.jp / URL <http://www.nwec.jp>

●日本女性会議 2012 仙台「きめる、うごく、東北から」

日本女性会議は、「女性の地位向上」を目的に話しあう全国的な規模の会議で、1995年には新潟市でも開催されました。今年は、10月26日（金）・27日（土）に仙台市で行われます。参加申込み等詳細については、日本女性会議 2012 仙台ホームページ（<http://joseikaigi2012sendai.jp>）をご覧ください。

10月26日（金）13:30～17:00

- ★基調報告：内閣府男女共同参画局
「日本の男女共同参画施策の現状と今後の課題について」
- ★特別プログラム
「女性たちが語る 3.11～これまでと今と」
コーディネーター：宗片恵美子（NPO 法人イコールネット仙台代表理事）
パネリスト：阿部恵子（南三陸ホテル観光女将）
石井布紀子（NPO 法人さくらネット代表理事）
伊藤千佐子（仙台子育てふれあいプラザのびすく仙台館長）
丹野綾子（河北新報社石巻総局記者）
二瓶由美子（桜の聖母短期大学准教授）

【会場】仙台国際センター（仙台市青葉区青葉山）

【問合せ先】日本女性会議 2012 仙台実行委員会事務局
（公益財団法人せんだい男女共同参画財団内）

TEL 022-212-1627

E-mail joseikaigi@sendai-l.jp

10月27日（土）9:30～16:20

- ★分科会
 - ①復興・防災に女性の声を（パネルディスカッション）
 - ②「困難すごろく」でみる女子の生きづらさ（パネルディスカッション）
 - ③役に立つ「人権」の話（対談）
 - ④東日本大震災・原発事故と母子支援（パネルディスカッション）
 - ⑤企業でキャリアを積むということ（リポート）
 - ⑥支援から交わりへ（パネルディスカッション）
- ★全体会
記念講演「女性のエンパワメント～ノルウェーからのメッセージ」
講師：アネット・トレッバルグ スチューイン（ノルウェー王国国議員）
- シンポジウム「きめる、うごく、東北から」
コーディネーター：辻村みよ子（東北大学大学院法学研究科教授）
コーディネーター：アネット・トレッバルグ スチューイン（ノルウェー王国国議員）
堂本暁子（前千葉県知事）
パネリスト：渥美由喜（東経営研究所）
石本めぐみ（RQ 被災地女性支援センター）
日置真世（北海道から地域づくりを創造・発信する 場づくり師）

編集・発行 / 財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニソンプラザ2階 / 新潟県女性センター

TEL 025-285-6610 FAX 025-285-6630

E-mail npwf@npwf.jp

ホームページ <http://www.npwf.jp>